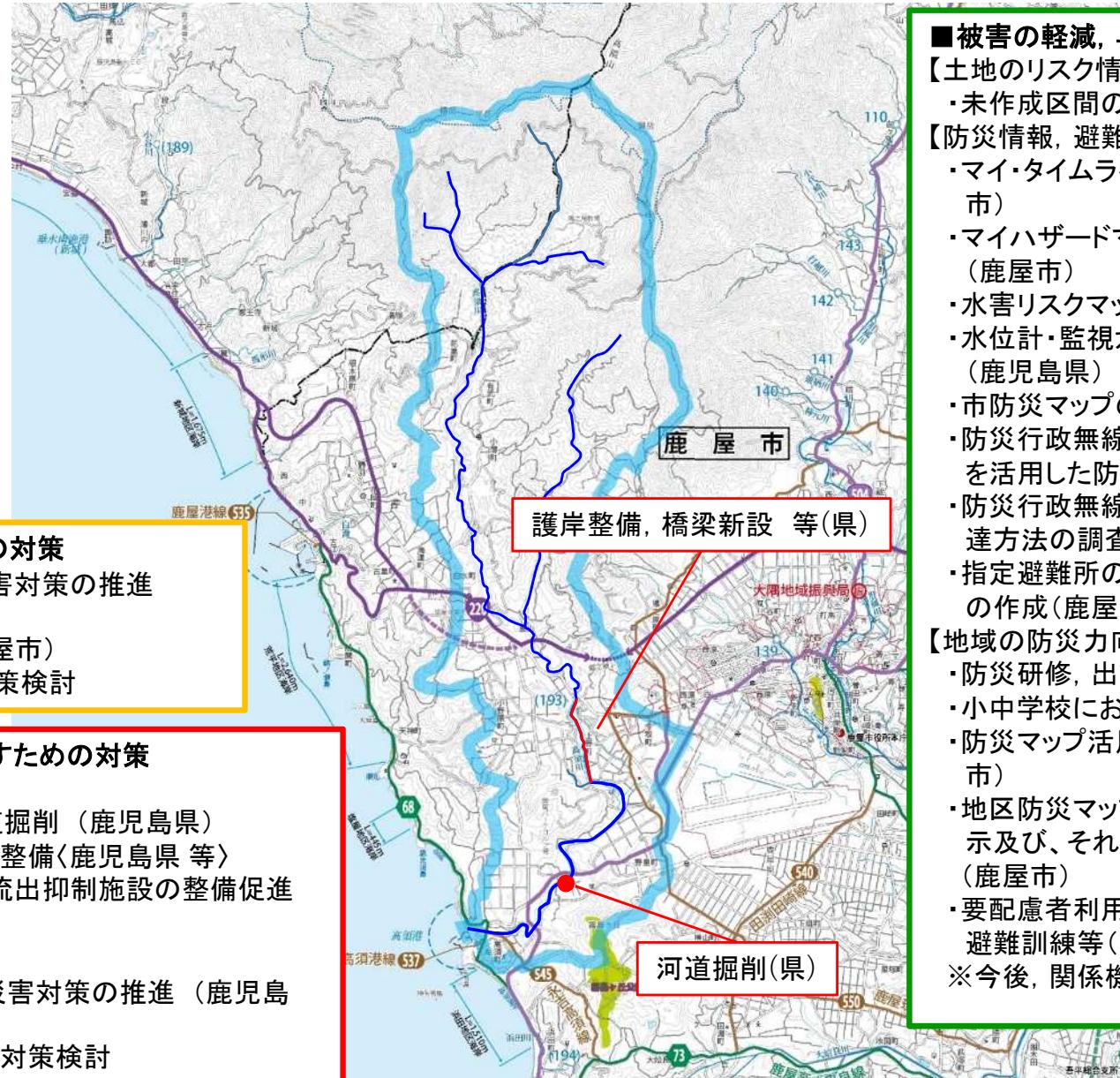


高須川水系流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が発生していることを踏まえ、高須川水系においても、流域内のあるる関係者が協働して流域全体で対応する必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【土地のリスク情報の充実・提供】

- 未作成区間の浸水想定区域図作成(鹿児島県)

【防災情報、避難体制の検討・連携強化】

- マイ・タイムラインの作成・支援(鹿児島県、鹿屋市)
- マイハザードマップ作成や避難訓練等の支援(鹿屋市)
- 水害リスクマップの運用(鹿児島県)
- 水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供(鹿児島県)
- 市防災マップの更新(R2.4更新済)(鹿屋市)
- 防災行政無線や緊急告知FMラジオ、またSNSを活用した防災情報伝達の充実(鹿屋市)
- 防災行政無線や緊急告知FMラジオに代わる伝達方法の調査研究(鹿屋市)
- 指定避難所の総点検、適正化、運営マニュアルの作成(鹿屋市)

【地域の防災力向上】

- 防災研修、出前講座等の実施(鹿児島県)
- 小中学校における防災教育(鹿屋市)
- 防災マップ活用講座、防災講話の開催(鹿屋市)
- 地区防災マップ作成による、内水氾濫範囲の表示及び、それを活用した避難訓練等の実施(鹿屋市)
- 要配慮者利用施設の避難確保計画を活用した避難訓練等(鹿屋市)

※今後、関係機関と連携し対策検討

高須川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・最終とりまとめ】

～いつか必ずくる大規模出水に備え、水害に負けない地域づくりに向けて流域が一体となった防災・減災対策～

○高須川水系では、流域全体を俯瞰し、県・市等の流域のあるる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした護岸整備、橋梁新設、河道掘削等を主に実施

土砂災害による流下能力不足防止を目的とした急傾斜地崩壊防止設備の整備、森林の整備・保全、治山施設の整備を実施
土地のリスク情報の充実・提供を行い流域内の被害軽減を目指す。

【中 期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施

【中長期】流下能力不足解消のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策 (河川改修、河道掘削、雨水流出抑制施設等)	鹿児島県、鹿屋市		河道掘削、樹木伐採 等	
	土砂災害対策(ハード対策)	鹿児島県		馬場地区 等	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	鹿児島県、鹿屋市、森林組合 等		森林整備による流出抑制対策 等	
被害対策を減少させるための対策	土砂災害対策(ソフト対策)	鹿児島県		土砂災害警戒区域の指定 等	
	災害リスクの低い拠点地域への緩やかな誘導 等	鹿屋市	計画の策定	誘導施策等の実施	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	鹿児島県、気象庁、鹿屋市		水位計・監視カメラの設置、防災情報の提供 等	
	土地のリスク情報の忠実	鹿児島県		洪水浸水想定区域図の作成・公表 等	
	地域の防災力向上	鹿児島県、鹿屋市		防災研修、出前講座、防災研修センター 等	
	防災学習の推進	気象庁		出前講座、防災学習 等	

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進